

輪投げ

輪投げは、投輪ラインから輪を投げ、得点板の棒に入れて合計点数を競うスポーツです。一般的には1人9本の輪を連続して投げ、棒の根元に書かれた数字の合計点で勝敗を決めます。ラインを踏まないなどの簡単なルールで、年齢を問わず楽しめます。

投げる本数: 1人につき、1回連続9本。

距離: 投輪ラインから輪投げ台まで、一般は2メートル離します。

得点: 輪が入ったポールの下（台座）に書かれた数字がそのまま得点になります。

ファウル: 投げる際に足が投輪ラインを踏み越えたり、ラインより前に出たりした場合は無効（0点）となります。

アレンジ

輪投げビンゴ: 縦・横・斜めに揃った数（1列～3列など）に応じて、景品や菓子を渡すルール。

距離のハンデ: 子どもの距離は1.5m、大人は2mなど、投げる位置を変えてハンデをつけるルール。

輪の持ち数: 1人3投ずつにして、チーム戦で交代しながら合計得点を競うルール

輪投げクジ: 輪投げの棒の根元に景品や罰ゲームを

書いた紙を貼っておいて、輪が入ったと
ことの紙の指示に従うルール。友達や家
族でやると盛り上がる。